

防災委員会活動報告書

平成 27 年度

支部名	県央支部	担当者名	東 二郎
被災地住宅相談員（キャラバン隊）研修会			
1. 研修会概要			
・日 時	平成27年12月9日（水）15：30～17：00		
・会 場	海老名市文化会館353号室（多目的室）		
・参加人数	17名（内近隣行政の4市1町6名が参加）		
・費 用	別途清算予定		
2. 内容について			
1. キャラバン隊の制度について説明			
2. キャラバン隊の活動について			
3. 県央支部内5市1町1村の内愛川町、綾瀬市、海老名市、座間市、大和市の担当者に出席 頂いた方々から市の防災計画、実施されている活動内容、建築士会への要望などを発表頂いた			
3. 質疑応答			
特にキャラバン隊への質問等はありませんでした			
4. 良かった点			
県央支部内の行政担当者に出席頂き、各市の防災計画、活動などが分かったと同時に、特に海老名市 で実施されている避難所の設営訓練などは、見習うべき訓練であると思われました。 また、行政間においても他の市の活動内容が分かり、刺激になったと思います。 支部内行政への働き掛けを研修開催前に支部内で検討し、実施した事が今後の支部活動の展開に役 立った と思います。これからも近隣行政と共同で活動できるよう定期的な結びつきを考えています。			
5. 改善点			
県央支部の参加者が、登録名簿の方だけであった。毎月の会誌に挿入する資料の作成が遅れ一般会 員 への周知が遅れてしまった事が、原因かと思えます。			

□ 行政出席者の意見

愛川町（担当課 建設部都市施設課）

防災計画を平成27年に改訂した

町、行政区、広域を持ち回りで3年サイクルで訓練を行っている

応急危険度の判定においては、行政だけでは難しいので建築士会の協力も仰ぎたい

綾瀬市（担当課 都市建設部 都市整備課）

旧耐震の建物調査の補助を行っている

ブロックによる道路閉塞の調査を実施し、閉塞の恐れのある場合はブロックの撤去を勧めている

応急危険度判定士のコーディネーターの養成を行っている

海老名市（担当課 まちづくり部都市計画課）

地域防災計画は、危機管理課が作成している

市内の避難所について市では担当者を決めていて、毎年避難所設営についての訓練を行っている

応急危険度判定の模擬訓練を毎年行っている メールによる連絡訓練を行っている

災害時には、避難所の運営は、自治会が主体となるのでその組織作りを行っている

応急危険度判定士は、民間で145名と市役所内で32名が登録されている

木造の耐震相談会を年3回行っていて、地元建築士会の方にお世話になっている

市内に分譲マンションが50棟以上あるが、現在20棟予備診断を実施中である

座間市（担当課 都市部建築住宅課）

地域防災計画は、安全防災課が作成している。平成19年に作成され、平成25年5月改定された

9月1日は、座間市でも市内全域で総合防災訓練を行っている

大和市（担当課 まちづくり計画部街づくり総務課）

他市同様地域防災計画を作成している

1. 応急危険度判定

2. 仮設住宅

3. 復旧復興

4. 建築相談窓口

以上の点を重点的に行っていく